



**2025年度上期
(2026年3月期 第2四半期)
決算補足説明資料**

東亜ディーケーケー株式会社

2025年11月

■売上高：計画通りに推移し増収

(国内) 半導体設備向け販売が好調で増収

(海外) 中国景気低迷の影響あるも、台湾の半導体設備向け販売が好調で増収

■利益：売上原価率の上昇及び研究開発費の増加により減益

(単位:百万円)

	2024年度 上期実績	2025年度 上期実績	前年同期比増減	
			金額	率
売上高	8,059	8,134	+75	+0.9%
営業利益 売上高比	319 4.0%	158 1.9%	▲161	▲50.5%
経常利益 売上高比	408 5.1%	188 2.3%	▲219	▲53.7%
親会社株主に帰属する 中間純利益 売上高比	262 3.3%	172 2.1%	▲89	▲34.3%

計測機器事業（増収減益）

売上高	8,012百万円	（0.9%増）
セグメント利益	609百万円	（21.5%減）

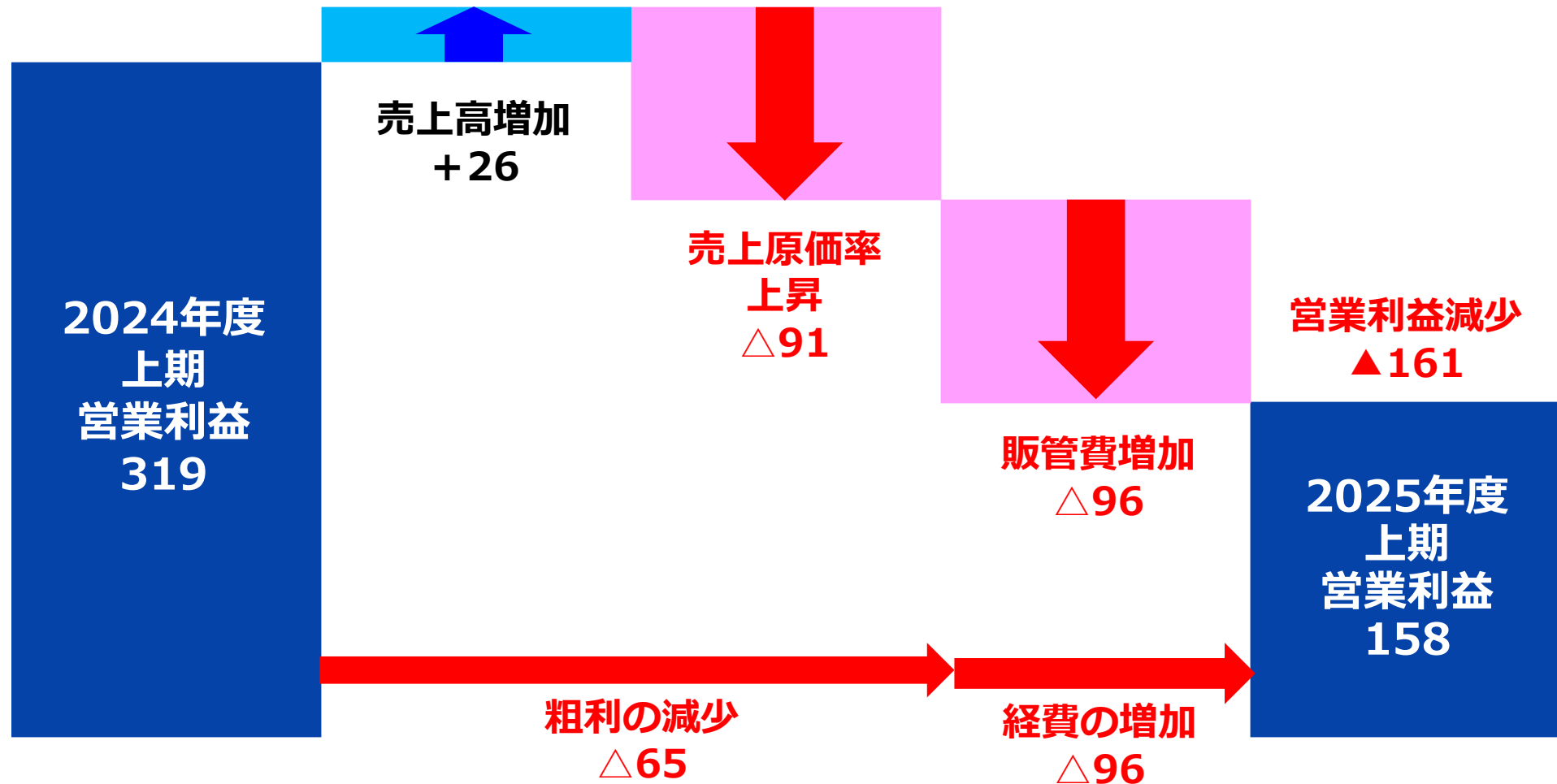
- 国内売上高：科学分析機器の販売減少も、環境・プロセス分析機器が好調により増収
 - ① 環境・プロセス分析機器：半導体設備向け販売が好調により増収
 - ② 科学分析機器：部材調達難による在庫不足から販売が減少し減収
 - ③ 医療関連機器：粉末型透析用剤溶解装置の販売が堅調で増収
 - ④ 電極・標準液／保守・修理／部品・その他：部品販売が減少も、保守・修理は順調で増収
- 海外売上高：中国景気低迷の影響あるも、台湾の半導体設備向け販売が好調で増収
- 利益：労務費の増加等による売上原価率の上昇と研究開発費の増加により減益

不動産賃貸事業（減収減益）

売上高	121百万円	（0.1%減）
セグメント利益	69百万円	（0.2%減）

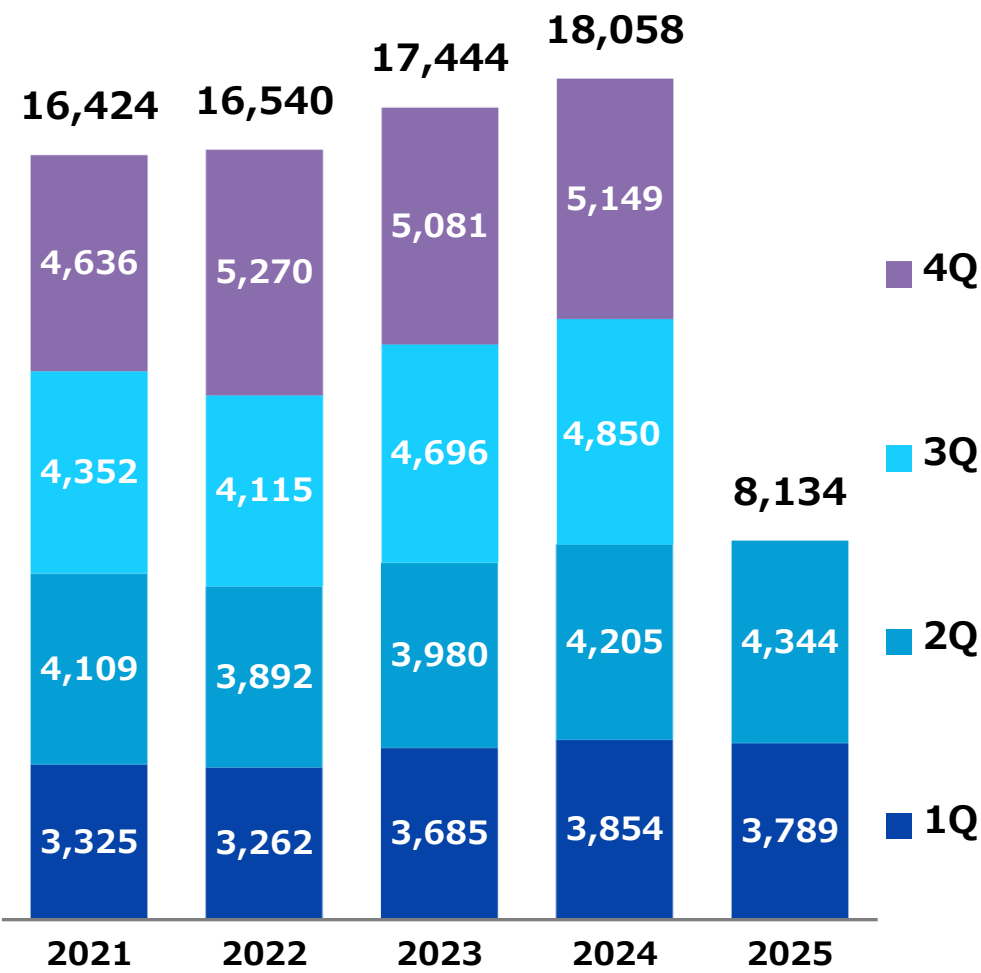
- 主な賃貸物件は、本社に隣接しているビル1棟と駐車場

(単位:百万円)

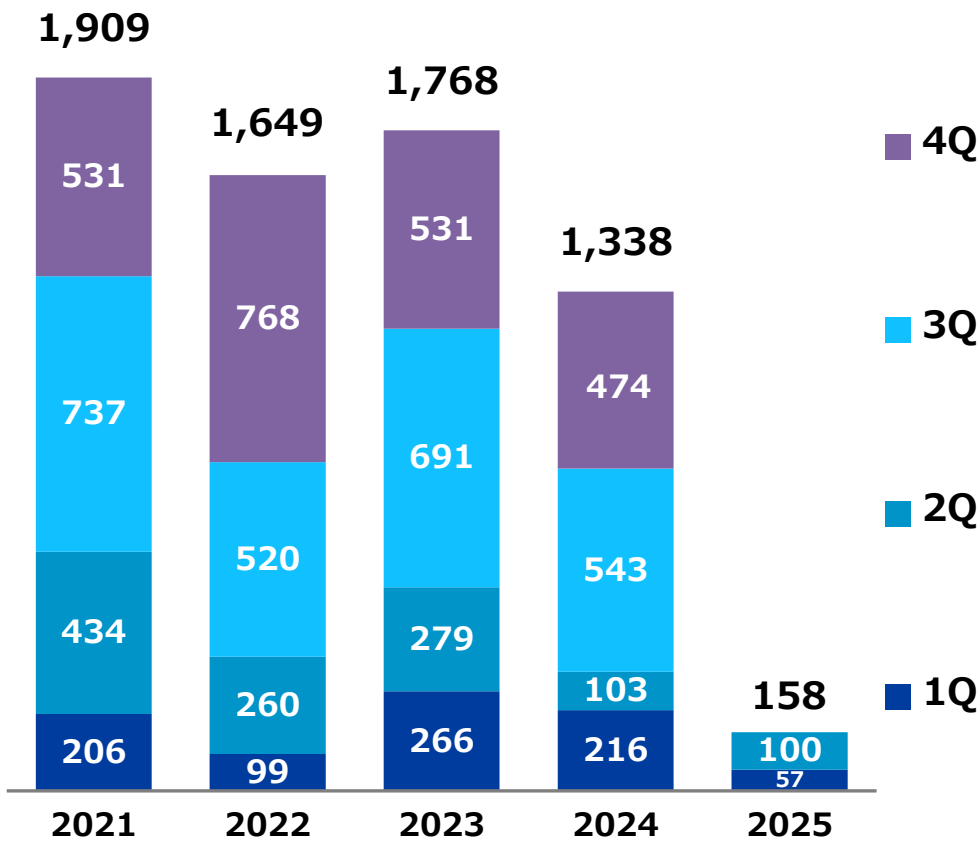


(単位:百万円)

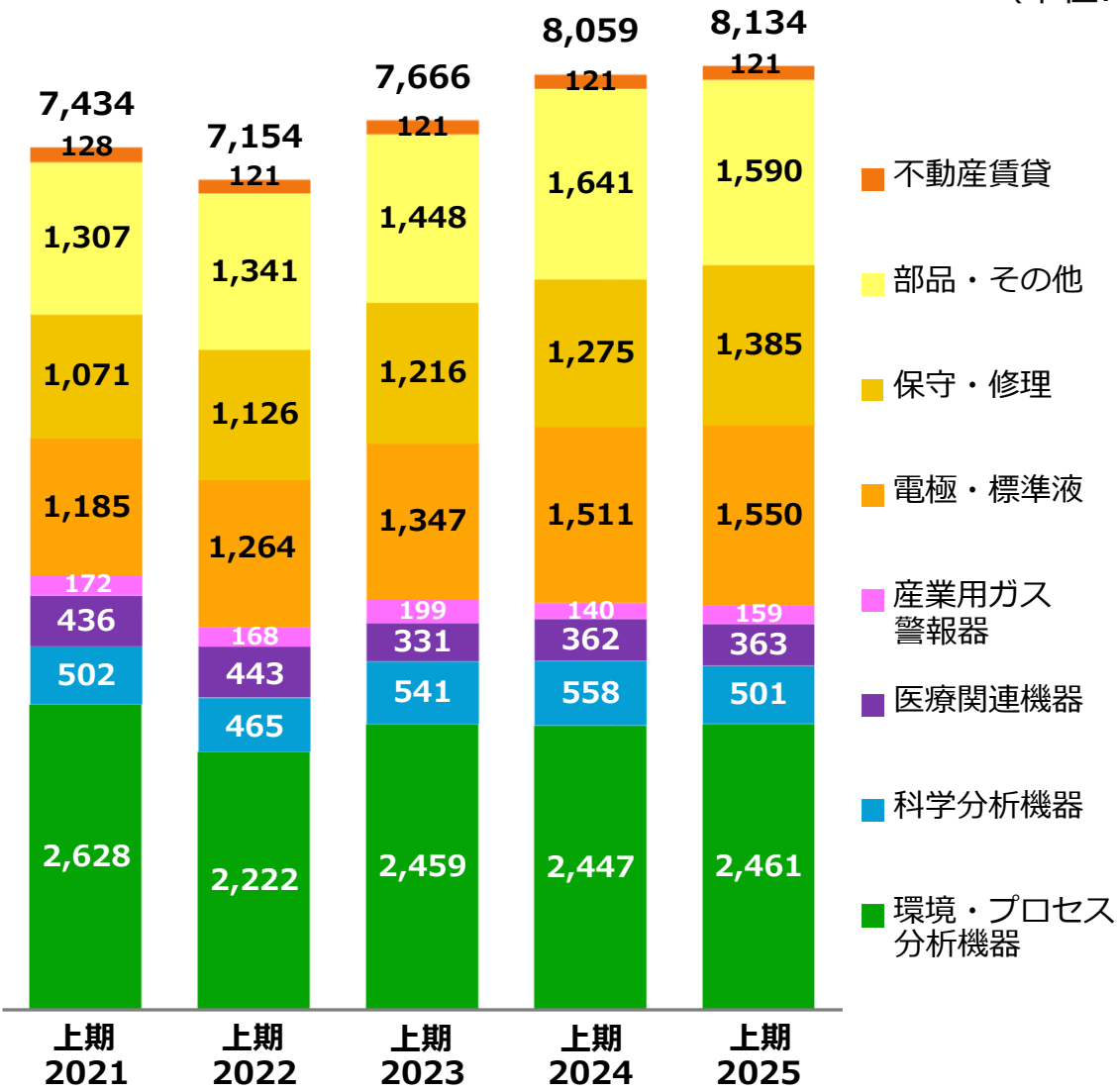
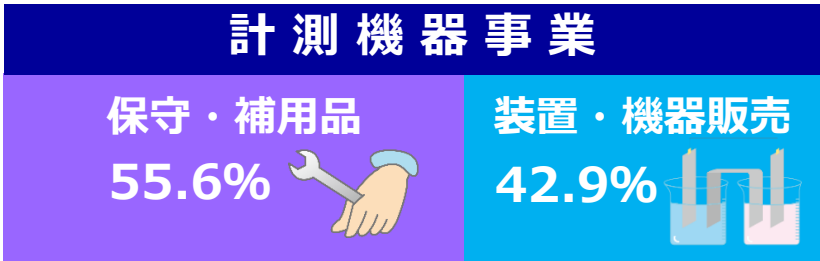
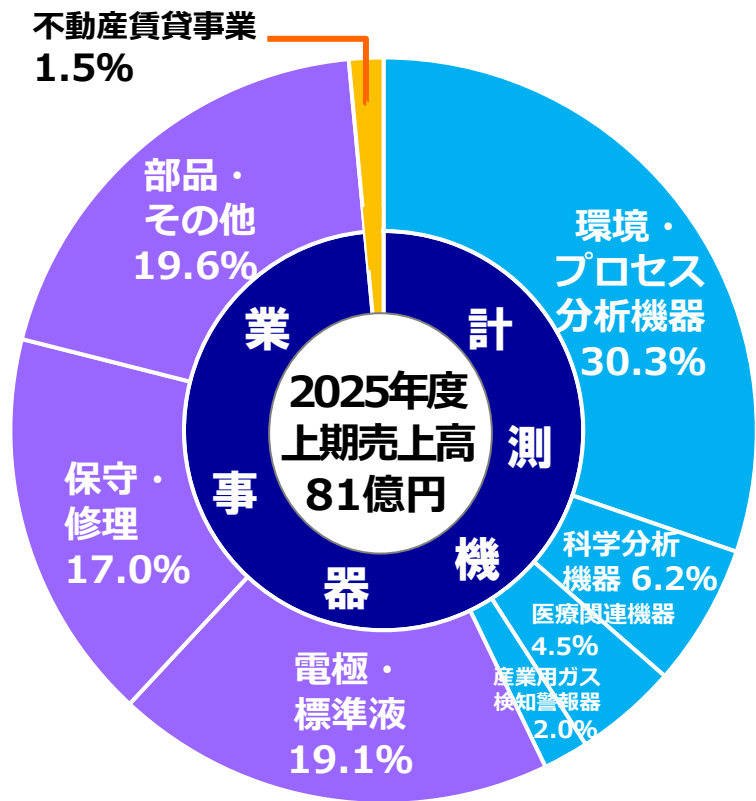
売上高



営業利益



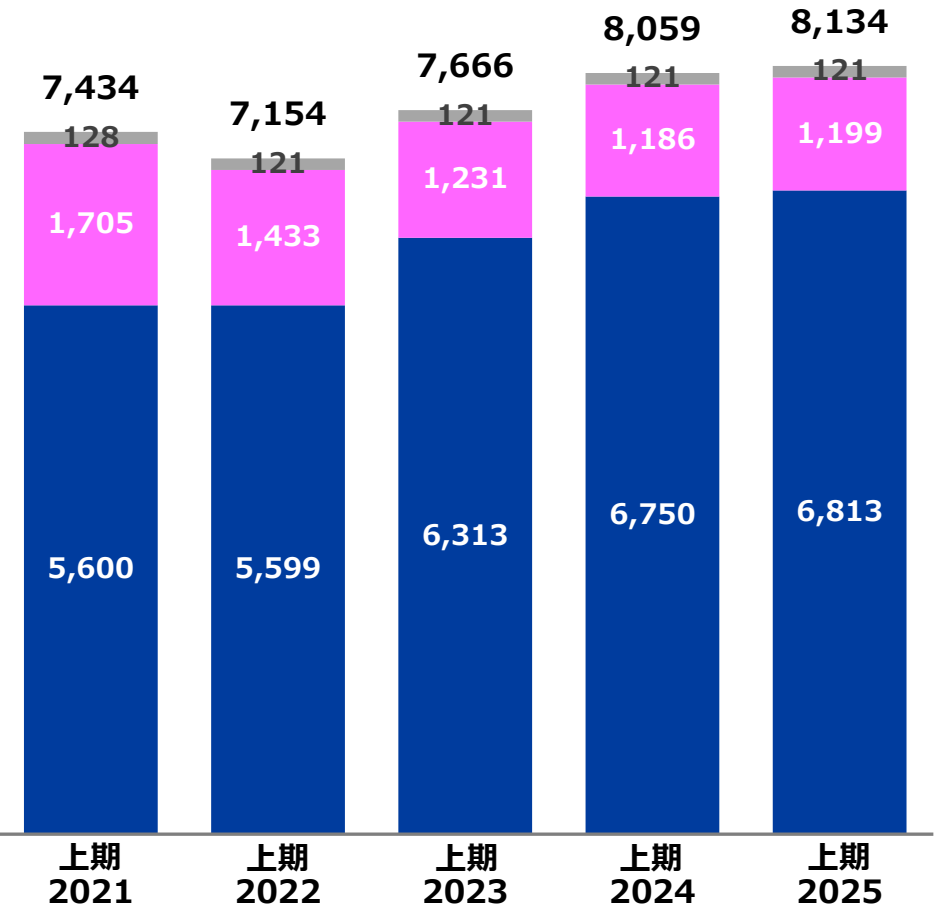
(単位:百万円)



(単位:百万円)

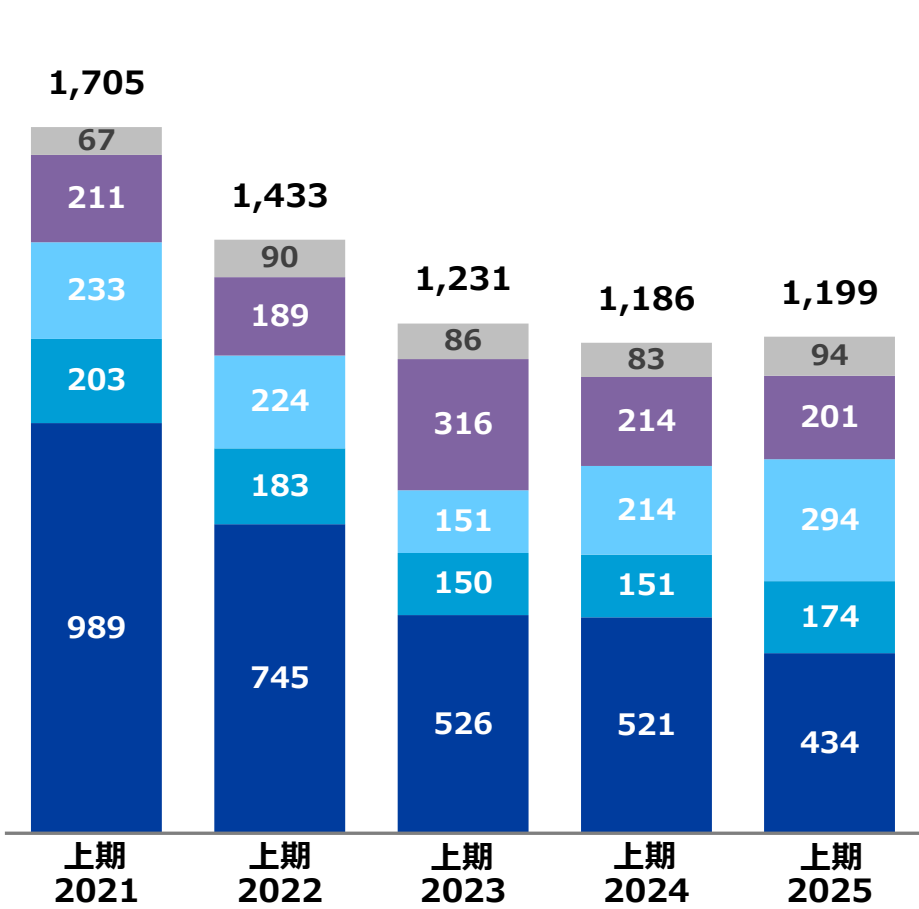
国内外の売上高

■ 計測機器：国内 ■ 計測機器：海外 ■ 不動産賃貸



海外の国別売上高

■ 中国 ■ 韓国 ■ 台湾 ■ その他アジア ■ その他



- 本資料は当社をご理解いただくために作成したものであり、当社への投資勧誘を目的としたものではありません。
- 本資料における将来予想に関する記述につきましては、目標や予測に基づいており、確約や保証を与えるものではありません。
- 本資料の金額は、表示単位未満を切り捨てているため、合計が合わない場合があります。
また、比率は円単位で算出し、小数点第2位を四捨五入しているため、合計が100.0%とならない場合があります。
- 将来における当社の業績が、現在の当社の将来予想と異なる結果になることがある点を認識された上でご利用ください。
- 業績等に関する記述につきましても、信頼できると思われる各種データに基づいて作成しておりますが、当社はその正確性、安全性を保証するものではありません。
- 本資料は、投資家の皆さまがいかなる目的にご利用される場合においても、皆さまご自身のご判断と責任においてご利用されることを前提にご提示させていただくものであり、当社はいかなる場合においてもその責任は負いません。

■ お問い合わせはこちらから <https://www.toadkk.co.jp/contact/ir/>

■ 当社Webサイト IR情報ページ <https://www.toadkk.co.jp/ir/>